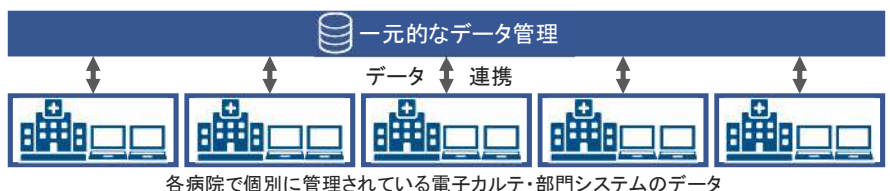





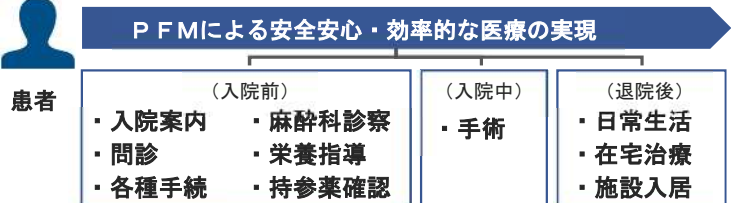
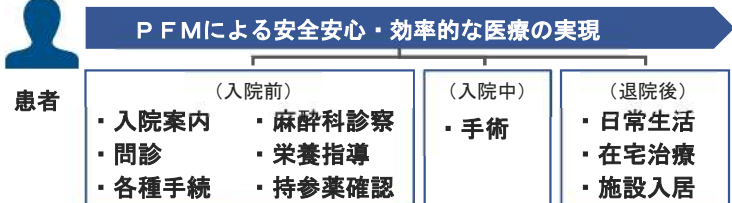
【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点
<p>第1 計画の期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間とする。</p>	<p>第1 計画の期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間とする。</p>
<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 高度医療の提供</p> <p>（1）機能の多様化と病院間連携の強化 少子高齢化が進む中で、多様な医療需要に応えるために、次の取組を通じて病院機能を見直す。</p> <p>ア 機能の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問診療やオンライン診療等、高齢者に対する総合的な医療提供体制の構築 ・ 高齢者の併存疾患や合併症への対応 ・ 退院後の自立した生活のための支援等のシームレスな支援 ・ 5つの病院で対応できない診療領域への、診療科の増設を含めた検討 <p>イ 病院間連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がんセンターと足柄上病院・循環器呼吸器病センターの連携によるがん患者の治療やこども医療センターと精神医療センターの連携による思春期医療の提供等、幅広い医療需要に対する病院機構内及び他の病院との連携 ・ 画像診断、病理診断等の遠隔システムによる連携 	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 高度医療の提供</p> <p>（1）機能の多様化と病院間連携の強化 少子高齢化が進む中で、多様な医療需要に応えるために、次の取組を通じて病院機能を見直す。</p> <p>ア 機能の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問診療やオンライン診療等、高齢者に対する総合的な医療提供体制の構築 ・ 高齢者の併存疾患や合併症への対応 ・ 退院後の自立した生活のための支援等のシームレスな支援 ・ 5つの病院で対応できない診療領域への、診療科の増設を含めた検討 <p>イ 病院間連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がんセンターと足柄上病院・循環器呼吸器病センターの連携によるがん患者の治療やこども医療センターと精神医療センターの連携による思春期医療の提供等、幅広い医療需要に対する病院機構内及び他の病院との連携 ・ 画像診断、病理診断等の遠隔システムによる連携
<p>（2）人材の確保と育成 県立病院の役割である高度・専門医療の提供、地域医療の支援等を確実に行うために、次の取組を通じて質の高い人材の確保、定着、育成を行う。</p> <p>ア 人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ （医師）大学の医局ローテーションに加え、公募等の方法の検討 ・ ホームページや民間の広報媒体の活用、就職説明会への参加等の積極的な採用活動 ・ 経営状況、診療報酬の動向及び職種ごとの実態に合わせた弾力的な採用試験 <p>イ 人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成プログラムに基づくOJTやキャリアステップの段階に応じた研修等 ・ 実習生や研修生の受入れを含めた養成機関との相互連携 ・ 地域医療機関の医療従事者との人事交流等を通じた相互研さん ・ （医師）専門医制度における基幹病院としての、専攻医の計画的な受入れと育成 ・ （看護師）医療ニーズに基づく専門看護師、認定看護師、認定看護管理者及び特定行為等に係る看護師の養成計画の検討 ・ （医療技術職員や事務職員）階層別人材育成プログラムによる、求められる能力の明確化や研修の更なる充実 	<p>（2）人材の確保と育成 県立病院の役割である高度・専門医療の提供、地域医療の支援等を確実に行うために、次の取組を通じて質の高い人材の確保、定着、育成を行う。</p> <p>ア 人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ （医師）大学の医局ローテーションに加え、公募等の方法の検討 ・ ホームページや民間の広報媒体の活用、就職説明会への参加等の積極的な採用活動 ・ 経営状況、診療報酬の動向及び職種ごとの実態に合わせた弾力的な採用試験 <p>イ 人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成プログラムに基づくOJTやキャリアステップの段階に応じた研修等 ・ 実習生や研修生の受入れを含めた養成機関との相互連携 ・ 地域医療機関の医療従事者との人事交流等を通じた相互研さん ・ （医師）専門医制度における基幹病院としての、専攻医の計画的な受入れと育成 ・ （看護師）医療ニーズに基づく専門看護師、認定看護師、認定看護管理者及び特定行為等に係る看護師の養成計画の検討 ・ （医療技術職員や事務職員）階層別人材育成プログラムによる、求められる能力の明確化や研修の更なる充実

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点						
<ul style="list-style-type: none"> （事務職員）診療報酬や財務事務に関する研修、異なる分野への定期的な人事異動 （管理者）高い経営感覚とマネジメント能力を身に付けるための研修の導入 組織・仕事への自発的貢献意欲の把握や職種別離職調査等を通じた職場環境の改善 <p>【目標値】</p> <table border="1" data-bbox="172 520 1062 600"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度実績値</th> <th>令和11年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師の充足率</td> <td>98.9%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値	看護師の充足率	98.9%	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> （事務職員）診療報酬や財務事務に関する研修、異なる分野への定期的な人事異動 （管理者）高い経営感覚とマネジメント能力を身に付けるための研修の導入 組織・仕事への自発的貢献意欲の把握や職種別離職調査等を通じた職場環境の改善
区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値					
看護師の充足率	98.9%	100.0%					
<p>（3）最先端技術の活用と医療機器等の計画的な整備 質の高い医療を提供するために、次の取組を通じてICT等の科学技術や医療機器等を効果的に導入する。</p>  <p>各病院で個別に管理されている電子カルテ・部門システムのデータ</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院で個別に管理されている電子カルテや部門システムの医療データの統合を通じたデータの一元管理 院内や病院機構全体での共同利用を視野に入れた、医療機器等の計画的な整備 シミュレーションに基づく収益性の検証を踏まえた高額医療機器の購入 	<p>（3）最先端技術の活用と医療機器等の計画的な整備 質の高い医療を提供するために、次の取組を通じてICT等の科学技術や医療機器等を効果的に導入する。</p>  <p>各病院で個別に管理されている電子カルテ・部門システムのデータ</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院で個別に管理されている電子カルテや部門システムの医療データの統合を通じたデータの一元管理 院内や病院機構全体での共同利用を視野に入れた、医療機器等の計画的な整備 シミュレーションに基づく収益性の検証を踏まえた高額医療機器の購入 						
<p>（4）臨床研究の推進 医療水準の向上及び医療人材の育成のために、次の取組を通じて臨床研究に取り組み、その成果を積極的かつ分かりやすく発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> （こども医療センター、精神医療センター、がんセンター及び循環器呼吸器病センター）ICT技術を活用した効率的に臨床研究を進められる体制の整備と、産学連携による新規治療法の開発等多様な主体との臨床研究 臨床研究の管理・支援に関わるシステム等を5病院で共通化し、臨床研究の効率的かつ適正な遂行の促進 研修会等の実施、研修生の受入れ等を通じた、人材交流、人材育成の推進 病院機構が持つ医療データの二次利用を通じた、産学との共同研究  <p>機構保有の医療データ → 匿名化 → 研究等への二次利用</p>	<p>（4）臨床研究の推進 医療水準の向上及び医療人材の育成のために、次の取組を通じて臨床研究に取り組み、その成果を積極的かつ分かりやすく発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> （こども医療センター、精神医療センター、がんセンター及び循環器呼吸器病センター）ICT技術を活用した効率的に臨床研究を進められる体制の整備と、産学連携による新規治療法の開発等多様な主体との臨床研究 臨床研究の管理・支援に関わるシステム等を5病院で共通化し、臨床研究の効率的かつ適正な遂行の促進 研修会等の実施、研修生の受入れ等を通じた、人材交流、人材育成の推進 病院機構が持つ医療データの二次利用を通じた、産学との共同研究  <p>機構保有の医療データ → 匿名化 → 研究等への二次利用</p>						

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点																																																					
<p>【各病院の取組】（病院確認中のため、参考記載）</p> <table border="1"> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>・ 難治性の小児疾患に関する臨床研究 ・ ゲノム医療等の最先端医療につながる研究</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>・ 依存症医療の新しい治療モデルに関する臨床研究</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>・ 早期開発段階の治療開発を含めた臨床試験 ・ がんの新たな予防、診断・治療方法の開発 ・ 免疫医療、がんゲノム医療等最先端医療につながる研究</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>・ 間質性肺炎や肺がん、循環器疾患の臨床研究</td> </tr> </table> <p>【目標値】治験受託件数 （調整中のため、参考記載）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和5年度実績値</th> <th>令和11年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども医療センター</td> <td style="text-align: center;">23件</td> <td style="text-align: center;">30件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td style="text-align: center;">279件</td> <td style="text-align: center;">345件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td style="text-align: center;">49件</td> <td style="text-align: center;">50件</td> </tr> </tbody> </table>	こども医療センター	・ 難治性の小児疾患に関する臨床研究 ・ ゲノム医療等の最先端医療につながる研究	精神医療センター	・ 依存症医療の新しい治療モデルに関する臨床研究	がんセンター	・ 早期開発段階の治療開発を含めた臨床試験 ・ がんの新たな予防、診断・治療方法の開発 ・ 免疫医療、がんゲノム医療等最先端医療につながる研究	循環器呼吸器病センター	・ 間質性肺炎や肺がん、循環器疾患の臨床研究	病院名	令和5年度実績値	令和11年度目標値	こども医療センター	23件	30件	がんセンター	279件	345件	循環器呼吸器病センター	49件	50件	<p>【各病院の取組】（病院確認中のため、参考記載）</p> <table border="1"> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>・ 難治性の小児疾患に関する臨床研究 ・ ゲノム医療等の最先端医療につながる研究</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>・ 依存症医療の新しい治療モデルに関する臨床研究</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>・ 早期開発段階の治療開発を含めた臨床試験 ・ がんの新たな予防、診断・治療方法の開発 ・ 免疫医療、がんゲノム医療等最先端医療につながる研究</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>・ 間質性肺炎や肺がん、循環器疾患の臨床研究</td> </tr> </table> <p>【目標値】治験受託件数（調整中のため、参考記載）</p>	こども医療センター	・ 難治性の小児疾患に関する臨床研究 ・ ゲノム医療等の最先端医療につながる研究	精神医療センター	・ 依存症医療の新しい治療モデルに関する臨床研究	がんセンター	・ 早期開発段階の治療開発を含めた臨床試験 ・ がんの新たな予防、診断・治療方法の開発 ・ 免疫医療、がんゲノム医療等最先端医療につながる研究	循環器呼吸器病センター	・ 間質性肺炎や肺がん、循環器疾患の臨床研究																									
こども医療センター	・ 難治性の小児疾患に関する臨床研究 ・ ゲノム医療等の最先端医療につながる研究																																																					
精神医療センター	・ 依存症医療の新しい治療モデルに関する臨床研究																																																					
がんセンター	・ 早期開発段階の治療開発を含めた臨床試験 ・ がんの新たな予防、診断・治療方法の開発 ・ 免疫医療、がんゲノム医療等最先端医療につながる研究																																																					
循環器呼吸器病センター	・ 間質性肺炎や肺がん、循環器疾患の臨床研究																																																					
病院名	令和5年度実績値	令和11年度目標値																																																				
こども医療センター	23件	30件																																																				
がんセンター	279件	345件																																																				
循環器呼吸器病センター	49件	50件																																																				
こども医療センター	・ 難治性の小児疾患に関する臨床研究 ・ ゲノム医療等の最先端医療につながる研究																																																					
精神医療センター	・ 依存症医療の新しい治療モデルに関する臨床研究																																																					
がんセンター	・ 早期開発段階の治療開発を含めた臨床試験 ・ がんの新たな予防、診断・治療方法の開発 ・ 免疫医療、がんゲノム医療等最先端医療につながる研究																																																					
循環器呼吸器病センター	・ 間質性肺炎や肺がん、循環器疾患の臨床研究																																																					
<p>（5）地域の医療機関等との機能分化・連携強化 地域医療構想や医療と福祉の連携の推進に向け、次の取組を通じて地域の医療機関等との機能分化・連携強化を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関等との勉強会や研修会の実施、医療機器の共同利用、患者の在宅移行等 入退院支援や退院後の自立した生活のための支援の充実等による地域の医療機関や福祉施設等との連携強化 地域の医療機関や福祉在宅療養施設等との情報共有 <p>【目標値】紹介件数・紹介率 （調整中のため、参考記載）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">令和5年度実績値</th> <th colspan="2">令和11年度目標値</th> </tr> <tr> <th>紹介件数</th> <th>紹介率</th> <th>紹介件数</th> <th>紹介率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td style="text-align: center;">5,146件</td> <td style="text-align: center;">75.6%</td> <td style="text-align: center;">4,750件</td> <td style="text-align: center;">80.0%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td style="text-align: center;">10,434件</td> <td style="text-align: center;">96.9%</td> <td style="text-align: center;">10,399件</td> <td style="text-align: center;">96.8%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td style="text-align: center;">1,126件</td> <td style="text-align: center;">70.5%</td> <td style="text-align: center;">1,000件</td> <td style="text-align: center;">70.0%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td style="text-align: center;">8,447件</td> <td style="text-align: center;">99.9%</td> <td style="text-align: center;">9,000件</td> <td style="text-align: center;">99.9%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td style="text-align: center;">3,879件</td> <td style="text-align: center;">85.8%</td> <td style="text-align: center;">3,970件</td> <td style="text-align: center;">86.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【目標値】逆紹介件数・逆紹介率 （調整中のため、参考記載）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">令和5年度実績値</th> <th colspan="2">令和11年度目標値</th> </tr> <tr> <th>逆紹介件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>逆紹介件数</th> <th>逆紹介率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td style="text-align: center;">6,502件</td> <td style="text-align: center;">95.5%</td> <td style="text-align: center;">6,640件</td> <td style="text-align: center;">85.0%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td style="text-align: center;">9,612件</td> <td style="text-align: center;">81.8%</td> <td style="text-align: center;">9,555件</td> <td style="text-align: center;">70.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和5年度実績値		令和11年度目標値		紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率	足柄上病院	5,146件	75.6%	4,750件	80.0%	こども医療センター	10,434件	96.9%	10,399件	96.8%	精神医療センター	1,126件	70.5%	1,000件	70.0%	がんセンター	8,447件	99.9%	9,000件	99.9%	循環器呼吸器病センター	3,879件	85.8%	3,970件	86.3%	病院名	令和5年度実績値		令和11年度目標値		逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率	足柄上病院	6,502件	95.5%	6,640件	85.0%	こども医療センター	9,612件	81.8%	9,555件	70.0%	<p>（5）地域の医療機関等との機能分化・連携強化 地域医療構想や医療と福祉の連携の推進に向け、次の取組を通じて地域の医療機関等との機能分化・連携強化を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関等との勉強会や研修会の実施、医療機器の共同利用、患者の在宅移行等 入退院支援や退院後の自立した生活のための支援の充実等による地域の医療機関等との連携強化 地域の医療機関や在宅療養施設等との情報共有 <p>【目標値】紹介件数・紹介率（調整中のため、参考記載）</p> <p>【目標値】逆紹介件数・逆紹介率（調整中のため、参考記載）</p>
病院名		令和5年度実績値		令和11年度目標値																																																		
	紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率																																																		
足柄上病院	5,146件	75.6%	4,750件	80.0%																																																		
こども医療センター	10,434件	96.9%	10,399件	96.8%																																																		
精神医療センター	1,126件	70.5%	1,000件	70.0%																																																		
がんセンター	8,447件	99.9%	9,000件	99.9%																																																		
循環器呼吸器病センター	3,879件	85.8%	3,970件	86.3%																																																		
病院名	令和5年度実績値		令和11年度目標値																																																			
	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率																																																		
足柄上病院	6,502件	95.5%	6,640件	85.0%																																																		
こども医療センター	9,612件	81.8%	9,555件	70.0%																																																		

コメントの追加 [A1]: 10/17 評価委員会での池島委員からの指摘を受けた文言追加

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点					【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点										
精神医療センター	1,269 件	79.5%	1,000 件	60.0%											
がんセンター	8,053 件	95.4%	8,500 件	95.0%											
循環器呼吸器病センター	4,989 件	110.4%	4,990 件	110.6%											
2 災害・感染症医療提供体制の充実・強化 (1) 災害医療の提供 災害発生時に神奈川県内の医療救護活動の拠点機能を担うために、県と協力しながら、次の取組を通じて体制を整える。 <ul style="list-style-type: none"> 7日間分の医薬品等の備蓄や設備・建物の定期的な点検及び必要な整備 大規模災害発生時、支援を受けずに少人数で対応することを前提としたBCP（事業継続計画）に基づく各種訓練と必要に応じた見直し 【各病院の取組】 （病院確認中のため、参考記載）					2 災害・感染症医療提供体制の充実・強化 (1) 災害医療の提供 災害発生時に神奈川県内の医療救護活動の拠点機能を担うために、県と協力しながら、次の取組を通じて体制を整える。 <ul style="list-style-type: none"> 7日間分の医薬品等の備蓄や設備・建物の定期的な点検及び必要な整備 大規模災害発生時、支援を受けずに少人数で対応することを前提としたBCP（事業継続計画）に基づく各種訓練と必要に応じた見直し 【各病院の取組】（病院確認中のため、参考記載）										
足柄上病院	災害拠点病院及び神奈川DMAT指定病院としての体制を充実強化する。				足柄上病院	災害拠点病院及び神奈川DMAT指定病院としての体制を充実強化する。									
こども医療センター	DPAT活動に対する協力を継続する。				こども医療センター	DPAT活動に対する協力を継続する。									
精神医療センター	災害拠点精神科病院としての体制を充実強化するとともに、DPAT活動に対する協力を継続する。				精神医療センター	災害拠点精神科病院としての体制を充実強化するとともに、DPAT活動に対する協力を継続する。									
(2) 感染症医療の提供 感染症の発生予防やまん延防止に適切な対応を図るため、神奈川県感染症予防計画等に基づき、次の取組を通じて県の医療提供体制の構築に積極的に寄与する。 <ul style="list-style-type: none"> 個人防護具の備蓄や必要な研修・訓練を通じた感染症への準備 新興・再興感染症発生時における神奈川県との医療措置協定による迅速な対応 病院の取組]感染症法に基づき神奈川県と締結した医療措置協定の内容					(2) 感染症医療の提供 感染症の発生予防やまん延防止に適切な対応を図るため、神奈川県感染症予防計画等に基づき、次の取組を通じて県の医療提供体制の構築に積極的に寄与する。 <ul style="list-style-type: none"> 個人防護具の備蓄や必要な研修・訓練を通じた感染症への準備 新興・再興感染症発生時における神奈川県との医療措置協定による迅速な対応 【各病院の取組】感染症法に基づき神奈川県と締結した医療措置協定の内容										
病院名	発熱外来			病床 確保	自宅療養者等への 医療提供	後方 支援	人材 派遣	足柄上病院	○	○	○	○	-	○	○
	対応	かかりつけ 患者以外	小児 対応												
こども医療センター	-	-	-	○	-	-	-								
精神医療センター	-	-	-	○	-	-	○								
がんセンター	○	-	-	○	-	○	-								
循環器呼吸器病センター	○	○	-	○	電話/オンライン診療	-	-								
※いずれの措置も、流行初期期間（発生公表後3か月程度）及び流行初期期間経過後（発生公表後6か月以内）の時期に行う					※いずれの措置も、流行初期期間（発生公表後3か月程度）及び流行初期期間経過後（発生公表後6か月以内）の時期に行う										

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点																																								
<p>3 患者や家族、地域から信頼される質の高い医療</p> <p>(1) 患者・家族目線に立った医療の提供 患者の権利及び人格を尊重し、患者及び家族等が安心して受けられる医療の提供をめざすために、次の取組を行う。</p> <p>ア 患者の権利確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の権利確保に関する会議体の設置及び機能拡充 インフォームド・コンセントに関する委員会の設置及び機能拡充 セカンドオピニオンを含む、患者の要望に一元的に対応する窓口の設置 外部委員のみで構成される監査委員会による患者安全監査の実施 <p>イ 患者・家族目線に立った支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 治療や生活上の問題、就労支援等の多様な相談等、患者支援体制の充実 P F Mの考え方に基づく円滑な入院調整の推進 患者や家族、地域との信頼関係を築くために、患者・市民参画制度の導入計画の策定  <p>ウ 医療の質の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院での定量的な指標による目標設定と、その測定、評価及び公表 地域連携も含めたクリニカルパスの運用の評価・改善の推進 インシデント報告の意識醸成及び定期的な評価 	<p>3 患者や家族、地域から信頼される質の高い医療</p> <p>(2) 患者・家族目線に立った医療の提供 患者の権利及び人格を尊重し、患者及び家族等が安心して受けられる医療の提供をめざすために、次の取組を行う。</p> <p>ア 患者の権利確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の権利確保に関する会議体の設置及び機能拡充 インフォームド・コンセントに関する委員会の設置及び機能拡充 セカンドオピニオンを含む、患者の要望に一元的に対応する窓口の設置 外部委員のみで構成される監査委員会による患者安全監査の実施 <p>イ 患者・家族目線に立った支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 治療や生活上の問題、就労支援等の多様な相談等、患者支援体制の充実 P F Mの考え方に基づく円滑な入院調整の推進 患者や家族、地域との信頼関係を築くために、患者・市民参画制度の導入計画の策定  <p>ウ 医療の質の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院での定量的な指標による目標設定と、その測定、評価及び公表 地域連携も含めたクリニカルパスの運用の評価・改善の推進 インシデント報告の意識醸成及び定期的な評価 																																								
<p>[目標値]入院患者満足度・外来患者満足度（調整中のため、参考記載）</p> <table border="1" data-bbox="178 1302 1062 1612"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">令和5年度実績値</th> <th colspan="2">令和11年度目標値</th> </tr> <tr> <th>入院患者満足度</th> <th>外来患者満足度</th> <th>入院患者満足度</th> <th>外来患者満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>94.4%</td> <td>95.5%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>97.1%</td> <td>95.4%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>69.2%</td> <td>79.3%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>91.2%</td> <td>85.9%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>98.9%</td> <td>96.4%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>[目標値]入退院支援実績件数・入院時支援実施件数（調整中のため、参考記載）</p> <table border="1" data-bbox="178 1680 1062 1722"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>入退院支援実績件数</th> <th>入院時支援実施件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和5年度実績値		令和11年度目標値		入院患者満足度	外来患者満足度	入院患者満足度	外来患者満足度	足柄上病院	94.4%	95.5%	100.0%	100.0%	こども医療センター	97.1%	95.4%	100.0%	100.0%	精神医療センター	69.2%	79.3%	100.0%	100.0%	がんセンター	91.2%	85.9%	100.0%	100.0%	循環器呼吸器病センター	98.9%	96.4%	100.0%	100.0%	病院名	入退院支援実績件数	入院時支援実施件数				<p>[目標値]入院患者満足度・外来患者満足度（調整中のため、参考記載）</p> <p>[目標値]入退院支援実績件数（調整中のため、参考記載）</p>
病院名		令和5年度実績値		令和11年度目標値																																					
	入院患者満足度	外来患者満足度	入院患者満足度	外来患者満足度																																					
足柄上病院	94.4%	95.5%	100.0%	100.0%																																					
こども医療センター	97.1%	95.4%	100.0%	100.0%																																					
精神医療センター	69.2%	79.3%	100.0%	100.0%																																					
がんセンター	91.2%	85.9%	100.0%	100.0%																																					
循環器呼吸器病センター	98.9%	96.4%	100.0%	100.0%																																					
病院名	入退院支援実績件数	入院時支援実施件数																																							

コメントの追加 [A2]: 「(3) 医療安全対策の推進 ア 患者安全確保」でインシデント報告に触れるため、削除

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点					【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点																
	令和5年度 実績値	令和11年度 目標値	令和5年度 実績値	令和11年度 目標値																	
足柄上病院	1,645 件	1,800 件	629 件	600 件																	
こども医療センター	3,035 件	2,900 件	909 件	810 件																	
がんセンター	7,957 件	8,200 件	1,431 件	1,700 件																	
循環器呼吸器病センター	2,634 件	2,650 件	936 件	940 件																	
※入退院支援加算算定件数及び入院時支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。																					
（2）患者サービスの充実と積極的な情報発信 高い信頼性の下で県民に選ばれる病院となるよう、次の取組を通じて すべての 県民に 情報を適時適切かつ 分かりやすく 情報を 提供、発信する。 <ul style="list-style-type: none"> 公開講座やホームページ及び広報誌等を通じた、疾患や予防等の積極的な情報発信 院内掲示やホームページによる、患者相談窓口等の分かりやすい情報提供 患者満足度調査等に基づく患者満足度の向上と業務の改善 明確な基準に基づくアクシデント事例等の情報の公表 予約や問診、診療、会計、処方等をオンライン上で処理するシステムによる患者待ち時間の短縮 					（2）患者サービスの充実と積極的な情報発信 高い信頼性の下で県民に選ばれる病院となるよう、次の取組を通じて県民に分かりやすく情報を提供、発信する。 <ul style="list-style-type: none"> 公開講座やホームページ及び広報誌等を通じた、疾患や予防等の積極的な情報発信 院内掲示やホームページによる、患者相談窓口等の分かりやすい情報提供 患者満足度調査等に基づく患者満足度の向上と業務の改善 明確な基準に基づくアクシデント事例等の情報の公表 予約や問診、診療、会計、処方等をオンライン上で処理するシステムによる患者待ち時間の短縮 																
（3）医療安全対策の推進 患者が安全に医療を受けられるよう、次の取組を行う。 ア 患者安全確保 <ul style="list-style-type: none"> 「神奈川県立病院機構医療安全推進体制に係る外部調査委員会」による 42 の提言に対応するためのアクションプランの着実な実施 全ての病院職員によるインシデント報告の徹底 医療安全研修等各種研修の実施を通じた、職員の患者安全教育の推進 安全文化調査の実施と、その結果に基づく対策 病院機構内でのインシデント警鐘事例やベストプラクティスの情報共有 重大事故発生時の適切な調査・記録と職員への結果の共有 重大事故発生時の患者・家族への適時適切な説明と、その意見に寄り添った対応 医療安全に関する各種規程やマニュアル、手順の整備と適時適切な改定 【目標値】 神奈川県立病院機構医療安全推進体制に係る外部調査委員会による 42 の提言に基づくインシデント報告数（調整中のため、参考記載） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度実績値</th> <th>令和11年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総報告件数</td> <td>12,849 件</td> <td>10,900 件以上</td> </tr> <tr> <td>医師の報告件数</td> <td>610 件</td> <td>870 件以上</td> </tr> <tr> <td>医師・看護師以外の報告割合</td> <td>9.5%</td> <td>20%以上</td> </tr> </tbody> </table> ※令和5年度実績値には、アクシデント 24 件を含む。また、上記3項目の同時達成を目指す。					区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値	総報告件数	12,849 件	10,900 件以上	医師の報告件数	610 件	870 件以上	医師・看護師以外の報告割合	9.5%	20%以上	（3）医療安全対策の推進 患者が安全に医療を受けられるよう、次の取組を行う。 ア 患者安全確保 <ul style="list-style-type: none"> 「神奈川県立病院機構医療安全推進体制に係る外部調査委員会」による 42 の提言に対応するためのアクションプランの着実な実施 （新設） 医療安全研修等各種研修の実施を通じた、職員の患者安全教育の推進 安全文化調査の実施と、その結果に基づく対策 病院機構内でのインシデント警鐘事例やベストプラクティスの情報共有 重大事故発生時の適切な調査・記録と職員への結果の共有 重大事故発生時の患者・家族への適時適切な説明と、その意見に寄り添った対応 医療安全に関する各種規程やマニュアル、手順の整備と適時適切な改定 【目標値】（調整中のため、参考記載） ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体におけるレベル0及びレベル1の割合 ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体における医師の報告割合				
区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値																			
総報告件数	12,849 件	10,900 件以上																			
医師の報告件数	610 件	870 件以上																			
医師・看護師以外の報告割合	9.5%	20%以上																			

コメントの追加 [A3]: 中期目標案の修正に合わせた文言修正

コメントの追加 [A4]: 42 の提言で掲げられた目標値設定のため追加。その他 42 の提言に合わせた細かな文言修正

コメントの追加 [A5]: 42 の提言で掲げられた目標値を掲載。総報告件数の令和5年度実績値が既に令和11年度目標値を上回っているが、42 の提言では3要素の同時達成を求めているため、42 の提言と同じ目標値を記載している。

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点																		
<p>（参考）病院機構医療安全推進規程で定める医療事故等の区分</p> <table border="1" data-bbox="172 411 1098 793"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">インシデント報告例 （ヒヤリ・ハット事例）</td> <td>レベル0</td> <td>エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった。</td> </tr> <tr> <td>レベル1</td> <td>患者への実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できないものも含む）。</td> </tr> <tr> <td>レベル2</td> <td>処置や治療は行わなかった（患者の観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）。</td> </tr> <tr> <td>レベル3a</td> <td>簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">アクシデント</td> <td>レベル3b</td> <td>濃厚な処置や治療・検査を要した。</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>提供した医療または管理に起因し（含む疑い）、患者の生活に影響する予期しなかった若しくは予期していたものを上回る高度の後遺症が残る可能性が生じた場合。</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>提供した医療または管理に起因し（含む疑い）、予期せず患者が死亡した場合。</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 院内の感染管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生状況の把握や感染源及び感染経路に応じた適切な対応 標準的な予防、発生時の初期対応の徹底と職員への定期的な研修 設備の適切な維持管理を通じた、レジオネラ属菌等の細菌感染症の予防 （本部事務局）法人全体の情報共有や連携推進と各病院の感染制御推進体制の支援 	区分	内容	インシデント報告例 （ヒヤリ・ハット事例）	レベル0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった。	レベル1	患者への実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できないものも含む）。	レベル2	処置や治療は行わなかった（患者の観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）。	レベル3a	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）。	アクシデント	レベル3b	濃厚な処置や治療・検査を要した。	レベル4	提供した医療または管理に起因し（含む疑い）、患者の生活に影響する予期しなかった若しくは予期していたものを上回る高度の後遺症が残る可能性が生じた場合。	レベル5	提供した医療または管理に起因し（含む疑い）、予期せず患者が死亡した場合。	<p>イ 院内の感染管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生状況の把握や感染源及び感染経路に応じた適切な対応 標準的な予防、発生時の初期対応の徹底と職員への定期的な研修 設備の適切な維持管理を通じた、レジオネラ属菌等の細菌感染症の予防 （本部事務局）法人全体の情報共有や連携推進と各病院の感染制御推進体制の支援
区分	内容																		
インシデント報告例 （ヒヤリ・ハット事例）	レベル0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった。																	
	レベル1	患者への実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できないものも含む）。																	
	レベル2	処置や治療は行わなかった（患者の観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）。																	
	レベル3a	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）。																	
アクシデント	レベル3b	濃厚な処置や治療・検査を要した。																	
	レベル4	提供した医療または管理に起因し（含む疑い）、患者の生活に影響する予期しなかった若しくは予期していたものを上回る高度の後遺症が残る可能性が生じた場合。																	
	レベル5	提供した医療または管理に起因し（含む疑い）、予期せず患者が死亡した場合。																	
<p>（４） 第三者評価の活用</p> <p>公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価を受審し、病院機構のすべての病院が認定病院をめざすことで、継続的な病院の質の改善につなげる。</p>	<p>（４） 第三者評価の活用</p> <p>公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価を受審し、病院機構のすべての病院が認定病院をめざすことで、継続的な病院の質の改善につなげる。</p>																		
<p>4 各病院の主な機能と今後の取組</p> <p>各病院の機能は、以下のとおりとする。ただし、高齢化のさらなる進展に伴う医療ニーズの変化に対応するため、病院の再編等を視野に入れながら、引き続き、地域における病院の機能や役割、地域の医療機関との機能分化や連携等に努める。</p>	<p>4 各病院の主な機能と今後の取組</p> <p>各病院の機能は、以下のとおりとする。ただし、高齢化のさらなる進展に伴う医療ニーズの変化に対応するため、病院の再編等を視野に入れながら、引き続き、地域における病院の機能や役割、地域の医療機関との機能分化や連携等に努める。</p>																		
<p>（１） 足柄上病院</p> <p>高齢化が著しく進展する中で、県西地域の中核的総合病院、第二種感染症指定医療機関、災害拠点病院、神奈川DMA T指定病院、臨床研修指定病院、地域医療支援病院 及び在宅療養後方支援病院としての役割を果たすため、次の取組を行う。</p> <p>ア 主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱、骨折、心不全等、一定の救急需要が見込まれる分野の診療体制の充実 複数疾患が併存する患者に対する包括的な診断・治療 生活機能障害に対するケア等の総合診療 国等の要請に基づく足柄上病院DMA Tの速やかな派遣 	<p>（１） 足柄上病院</p> <p>高齢化が著しく進展する中で、県西地域の中核的総合病院、第二種感染症指定医療機関、災害拠点病院、神奈川DMA T指定病院、臨床研修指定病院、地域医療支援病院 及び在宅療養後方支援病院としての役割を果たすため、次の取組を行う。</p> <p>ア 主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱、骨折、心不全等、一定の救急需要が見込まれる分野の診療体制の充実 複数疾患が併存する患者に対する包括的な診断・治療 生活機能障害に対するケア等の総合診療 国等の要請に基づく足柄上病院DMA Tの速やかな派遣 																		

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点																								
<p>イ 人材育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の研修受入れや各種制度を通じた、専門医や総合的な診療ができる医師の育成 看護師、薬剤師及び管理栄養士等の研修の積極的な受入れ <p>ウ 地域連携の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医の支援、地域医療従事者の研修、施設の共同利用等 在宅療養患者への24時間受入体制の構築を通じた、地域包括ケアシステム の維持 小田原市立病院等との「小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力に係る基本協定書」に基づく、県西地域の医療の推進及び地域医療構想の実現へ向けた連携 <p>エ 再整備へ向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症医療、災害医療、回復期医療及び救急医療の充実強化 地域の医療機関や行政機関等と連携した医療DXの活用による未来型医療の提供 <p>【目標値】（調整中のため、参考記載）</p> <table border="1" data-bbox="178 934 1062 1354"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度実績値</th> <th>令和11年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数（手術室で実施）</td> <td><u>2,050 件</u></td> <td><u>1,700 件</u></td> </tr> <tr> <td>救急車による救急受入件数</td> <td><u>3,118 件</u></td> <td><u>2,900 件</u></td> </tr> <tr> <td>内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡検査件数）</td> <td><u>3,770 件</u></td> <td><u>3,500 件</u></td> </tr> <tr> <td>内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡治療件数）</td> <td><u>1,308 件</u></td> <td><u>1,200 件</u></td> </tr> <tr> <td>人工関節センター実施件数 （関節症（膝・股）人工関節置換術件数）</td> <td><u>109 件</u></td> <td><u>80 件</u></td> </tr> <tr> <td>急性期病棟における在宅復帰率</td> <td><u>86.6%</u></td> <td><u>90.0%</u></td> </tr> <tr> <td>地域包括ケア病棟における在宅復帰率</td> <td><u>92.9%</u></td> <td><u>79.0%</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>【病床数】（調整中のため、参考記載）【注：巻末に記載】</p>	区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値	手術件数（手術室で実施）	<u>2,050 件</u>	<u>1,700 件</u>	救急車による救急受入件数	<u>3,118 件</u>	<u>2,900 件</u>	内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡検査件数）	<u>3,770 件</u>	<u>3,500 件</u>	内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡治療件数）	<u>1,308 件</u>	<u>1,200 件</u>	人工関節センター実施件数 （関節症（膝・股）人工関節置換術件数）	<u>109 件</u>	<u>80 件</u>	急性期病棟における在宅復帰率	<u>86.6%</u>	<u>90.0%</u>	地域包括ケア病棟における在宅復帰率	<u>92.9%</u>	<u>79.0%</u>	<p>イ 人材育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の研修受入れや各種制度を通じた、専門医や総合的な診療ができる医師の育成 看護師、薬剤師及び管理栄養士等の研修の積極的な受入れ <p>ウ 地域連携の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医の支援、地域医療従事者の研修、施設の共同利用等 在宅療養患者への24時間受入体制の構築を通じた、地域包括ケアシステム の維持 小田原市立病院等との「小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力に係る基本協定書」に基づく、県西地域の医療の推進及び地域医療構想の実現へ向けた連携 <p>エ 再整備へ向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症医療、災害医療、回復期医療及び救急医療の充実強化 地域の医療機関や行政機関等と連携した医療DXの活用による未来型医療の提供 <p>【目標値】（調整中のため、参考記載）</p> <p>手術件数（手術室で実施） 救急車による救急受入件数 内視鏡センター実施件数（消化器内視鏡検査件数） 内視鏡センター実施件数（消火器内視鏡治療件数） 人工関節センター実施件数（関節症（膝・股）人工関節置換術件数） 急性期病棟における在宅復帰率 地域包括ケア病棟における在宅復帰率</p> <p>【病床数】（調整中のため、参考記載）</p>
区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値																							
手術件数（手術室で実施）	<u>2,050 件</u>	<u>1,700 件</u>																							
救急車による救急受入件数	<u>3,118 件</u>	<u>2,900 件</u>																							
内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡検査件数）	<u>3,770 件</u>	<u>3,500 件</u>																							
内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡治療件数）	<u>1,308 件</u>	<u>1,200 件</u>																							
人工関節センター実施件数 （関節症（膝・股）人工関節置換術件数）	<u>109 件</u>	<u>80 件</u>																							
急性期病棟における在宅復帰率	<u>86.6%</u>	<u>90.0%</u>																							
地域包括ケア病棟における在宅復帰率	<u>92.9%</u>	<u>79.0%</u>																							
<p>（2）こども医療センター</p> <p>福祉施設を併設した小児専門総合病院、小児がん拠点病院、小児三次救急を担う医療機関、総合周産期母子医療センター及びアレルギー疾患医療拠点病院としての役割を果たすため、次の取組を行う。</p> <p>ア 主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児の心疾患や先天性異常等に対する手術や難治性疾患、希少疾患等に対する高度・専門医療 児童・思春期に特化した精神科診療 	<p>（2）こども医療センター</p> <p>福祉施設を併設した小児専門総合病院、小児がん拠点病院、小児三次救急を担う医療機関、総合周産期母子医療センター及びアレルギー疾患医療拠点病院としての役割を果たすため、次の取組を行う。</p> <p>ア 主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児の心疾患や先天性異常等に対する手術や難治性疾患、希少疾患等に対する高度・専門医療 児童・思春期に特化した精神科診療 																								

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点																																	
<ul style="list-style-type: none"> 小児の総合的な緩和ケアの推進 小児がんの先進的な集学的治療とAYA世代のがん患者に対する適切な治療・支援 小児三次救急及び周産期救急体制による重症患者の積極的な受入れと、 医療的ケア児等の在宅移行の支援 アレルギー疾患における地域の医療機関等への情報提供、人材育成、研究、学校への助言と、重症及び難治性アレルギー疾患患者に対する最適な治療 患者・家族滞在施設リラのいえ（認定NPO法人スマイルオブキッズ運営）等との連携による、患児だけでなく親ときょうだい児など家族一体とした支援 <p>イ 福祉施設の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉施設によるレスパイトケア等、医療的ケアの必要な患者の積極的な受入れ 患者ニーズに応じた肢体不自由児施設と重症心身障害児施設の運営 <p>ウ 地域連携の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療、行政、福祉、教育機関等と連携した児童虐待の早期発見や対応並びにこどものこころのケアの質の向上 医療的ケアが必要な患者の入退院支援体制の整備 研修の実施等を通じた地域の医療機関等の医療ケアスキルの向上支援 成人移行期外来における自立支援や成人期の医療機関との連携 小児の難治性疾患や希少疾患の治療等に係ると、地域の医療機関等への情報提供や人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> 小児の総合的な緩和ケアの推進 小児がんの先進的な集学的治療とAYA世代のがん患者に対する適切な治療・支援 重症患者の積極的な受入れと、医療的ケア児等の在宅移行の支援 <ul style="list-style-type: none"> アレルギー疾患における地域の医療機関等への情報提供、人材育成、研究、学校への助言と、重症及び難治性アレルギー疾患患者に対する最適な治療 患者・家族滞在施設リラのいえ（認定NPO法人スマイルオブキッズ運営）等との連携による、患児だけでなく親ときょうだい児など家族一体とした支援 <p>イ 福祉施設の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉施設によるレスパイトケア等、医療的ケアの必要な患者の積極的な受入れ 患者ニーズに応じた肢体不自由児施設と重症心身障害児施設の運営 <p>ウ 地域連携の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療、行政、福祉、教育機関等と連携した児童虐待の早期発見や対応並びにこどものこころのケアの質の向上 医療的ケアが必要な患者の入退院支援体制の整備 研修の実施等を通じた地域の医療機関等の医療ケアスキルの向上支援 成人移行期外来における自立支援や成人期の医療機関との連携 難治性疾患や希少疾患の治療と、地域の医療機関等への情報提供や人材育成 																																	
<p>エ 医療安全の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県立病院機構医療安全推進体制に係る外部調査委員会による、こども医療センターへの19の提言の着実な履行 <p>【目標値】（調整中のため、参考記載）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度実績値</th> <th>令和11年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数（手術室で実施）</td> <td>3,312 件</td> <td>3,450 件</td> </tr> <tr> <td>救急車による救急受入件数</td> <td>594 件</td> <td>570 件</td> </tr> <tr> <td>小児がん患者新規治療開始患者数</td> <td>77 人</td> <td>77 人</td> </tr> <tr> <td>N I C U新規入院患者数</td> <td>459 人</td> <td>480 人</td> </tr> <tr> <td>M F I C U新規入院患者数</td> <td>352 人</td> <td>350 人</td> </tr> <tr> <td>G C U入院患者実患者数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児緩和ケア診療加算算定実施件数</td> <td>二</td> <td>800 件</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション件数</td> <td>22,369 件</td> <td>23,000 件</td> </tr> <tr> <td>食物経口負荷試験実施件数</td> <td>344 件</td> <td>560 件</td> </tr> <tr> <td>摂食障害家族会延参加人数</td> <td>54 名</td> <td>60 名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値	手術件数（手術室で実施）	3,312 件	3,450 件	救急車による救急受入件数	594 件	570 件	小児がん患者新規治療開始患者数	77 人	77 人	N I C U新規入院患者数	459 人	480 人	M F I C U新規入院患者数	352 人	350 人	G C U入院患者実患者数			小児緩和ケア診療加算算定実施件数	二	800 件	リハビリテーション件数	22,369 件	23,000 件	食物経口負荷試験実施件数	344 件	560 件	摂食障害家族会延参加人数	54 名	60 名	<p>エ 医療安全の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県立病院機構医療安全推進体制に係る外部調査委員会による、こども医療センターへの19の提言の着実な履行 <p>【目標値】（調整中のため、参考記載）</p> <p>手術件数（手術室で実施） 救急車による救急受入件数 小児がん患者新規入院患者数 N I C U新規入院患者数 M F I C U新規入院患者数 G C U入院患者実患者数 緩和ケア実施件数 リハビリテーション件数 （新規） （新規）</p>
区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値																																
手術件数（手術室で実施）	3,312 件	3,450 件																																
救急車による救急受入件数	594 件	570 件																																
小児がん患者新規治療開始患者数	77 人	77 人																																
N I C U新規入院患者数	459 人	480 人																																
M F I C U新規入院患者数	352 人	350 人																																
G C U入院患者実患者数																																		
小児緩和ケア診療加算算定実施件数	二	800 件																																
リハビリテーション件数	22,369 件	23,000 件																																
食物経口負荷試験実施件数	344 件	560 件																																
摂食障害家族会延参加人数	54 名	60 名																																

コメントの追加 [A6]: 小児三次救急及び総合周産期母子医療センターとしての機能を明記するための修正（受け入れた患者の全てが医療的ケア児となるわけではないことから、後半部分は項目を分けている）

コメントの追加 [A7]: 難治性疾患や希少疾患をはじめとする小児医療に関する情報提供等であることから、文言を補う。治療は「ア 主な機能」に記載があるため、重複を削除。

コメントの追加 [A8]: 病院として注力すべき分野の実績を評価できるよう、目標値を入替

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点																					
<p>【病床数】（調整中のため、参考記載）【注：巻末に記載】</p>	<p>【病床数】（調整中のため、参考記載）</p>																					
<p>（3）精神医療センター 精神科中核病院、精神科救急医療システムの基幹病院、災害拠点精神科病院及び依存症治療拠点機関として、一般の精神科病院等における対応困難な重症患者の受入れ等の役割を果たすため、次の取組を行う。</p> <p>ア 主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期医療、依存症医療、ストレスケア医療、医療観察法医療等の高度・専門医療の提供 ・ 精神科救急・急性期医療の提供 ・ 国等の要請に基づく災害派遣精神医療チーム（DPAT）の速やかな派遣への協力 <p>イ 精神科特有の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者当事者目線による、人権に配慮した治療（隔離・身体的拘束の最小化等） ・ 身体合併症に対応できる診療体制の検討及び構築 ・ 医療需要の変化や地域移行の進展等に対応した病棟機能や適切な病床数、大部屋の個室化等の検討 <p>ウ 地域連携の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 依存症治療の情報発信や医療機関への研修等を通じた県の依存症対策への寄与 ・ 患者の地域移行や早期の社会復帰の推進による地域包括ケアシステムの維持 <p>【目標値】（調整中のため、参考記載）</p> <table border="1" data-bbox="178 1192 1062 1539"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度実績値</th> <th>令和11年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>依存症集団治療プログラム延患者数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クロザピンによる治療患者数[累計]</td> <td>183人</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>救急病棟入院延患者数</td> <td>23,237人</td> <td>22,430人</td> </tr> <tr> <td>訪問看護件数</td> <td>3,913件</td> <td>3,200件</td> </tr> <tr> <td>1年以上の長期入院患者割合（各年度末時点）</td> <td>14.9%</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>退院後3か月以内に再入院した患者の割合</td> <td>14.0%</td> <td>16.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1年以上の長期入院患者割合（各年度末時点）は、医療観察法病棟入院患者を除く。</p> <p>【病床数】（調整中のため、参考記載）【注：巻末に記載】</p>	区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値	依存症集団治療プログラム延患者数			クロザピンによる治療患者数[累計]	183人	300人	救急病棟入院延患者数	23,237人	22,430人	訪問看護件数	3,913件	3,200件	1年以上の長期入院患者割合（各年度末時点）	14.9%	10.0%	退院後3か月以内に再入院した患者の割合	14.0%	16.0%	<p>（3）精神医療センター 精神科中核病院、精神科救急医療システムの基幹病院、災害拠点精神科病院及び依存症治療拠点機関として、一般の精神科病院等における対応困難な重症患者の受入れ等の役割を果たすため、次の取組を行う。</p> <p>ア 主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期医療、依存症医療、ストレスケア医療、医療観察法医療等の高度・専門医療の提供 ・ 精神科救急・急性期医療の提供 ・ 国等の要請に基づく災害派遣精神医療チーム（DPAT）の速やかな派遣への協力 <p>イ 精神科特有の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者当事者目線による、人権に配慮した治療（隔離・身体的拘束の最小化等） ・ 身体合併症に対応できる診療体制の検討及び構築 ・ 医療需要の変化や地域移行の進展等に対応した病棟機能や適切な病床数、大部屋の個室化等の検討 <p>ウ 地域連携の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 依存症治療の情報発信や医療機関への研修等を通じた県の依存症対策への寄与 ・ 患者の地域移行や早期の社会復帰の推進による地域包括ケアシステムの維持 <p>【目標値】（調整中のため、参考記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> 依存症集団治療プログラム延患者数 クロザピンによる治療患者数 救急病棟入院延患者数 訪問看護件数 （新規） 退院後3か月以内に再入院した患者の割合 <p>【病床数】（調整中のため、参考記載）</p>
区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値																				
依存症集団治療プログラム延患者数																						
クロザピンによる治療患者数[累計]	183人	300人																				
救急病棟入院延患者数	23,237人	22,430人																				
訪問看護件数	3,913件	3,200件																				
1年以上の長期入院患者割合（各年度末時点）	14.9%	10.0%																				
退院後3か月以内に再入院した患者の割合	14.0%	16.0%																				
<p>（4）がんセンター</p>	<p>（4）がんセンター</p>																					

コメントの追加 [A9]: これ以前に注釈で説明しているため、重複表現として削除

コメントの追加 [A10]: 一般的な治療となっていることから、第四期からは設定しないこととする。

コメントの追加 [A11]: 長期入院患者の退院促進と、入退院支援の強化による、患者の地域移行を測る指標（低い方が良い）

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点																																	
<p>がん専門病院、都道府県がん診療連携拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院としての役割を果たすため、次の取組を行う。</p> <p>ア 主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術、放射線及びがん薬物療法や緩和ケアによる集学的ながん医療の質の向上 より高度な医療の提供や医療技術の開発 がんゲノム医療連携病院等との連携を通じた遺伝子パネル検査と治療機会の提供 重粒子線治療の認知度向上と、これに伴う受入れ患者数の増加 他病院での対応が困難な希少がん、原発不明がん及び多重がんの治療 リハビリテーションの積極的介入や専門的な緩和ケア、東洋医学等の支持療法の提供 アピアランスケアや就労支援等の多様な相談への対応 全国がん登録、地域がん登録（神奈川県悪性新生物登録）及び院内がん登録の着実な推進 <p>イ 研究・人材育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 病理部門と臨床研究所を含めた複数の部門の協働による新たな治療方法の開発 がん領域の専門医取得をめざす人材の全国からの受入れ <p>ウ 地域連携の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県がん診療連携協議会における地域の医療機関との連携 <p>【目標値】—（調整中のため、参考記載）—</p> <table border="1" data-bbox="172 1119 1062 1543"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度実績値</th> <th>令和11年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数（手術室で実施）</td> <td>3,763 件</td> <td>3,920 件</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>1,311 件</td> <td>1,500 件</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法実施件数</td> <td>26,046 件</td> <td>27,000 件</td> </tr> <tr> <td>遺伝子パネル検査数</td> <td>606 件</td> <td>1,000 件</td> </tr> <tr> <td>重粒子線治療件数</td> <td>764 件</td> <td>880 件</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション単位数</td> <td>19,754 単位</td> <td>30,000 単位</td> </tr> <tr> <td>漢方サポートセンター外来患者数</td> <td>4,866 件</td> <td>4,800 件</td> </tr> <tr> <td>アピアランスサポート件数</td> <td>470 件</td> <td>500 件</td> </tr> <tr> <td>臨床研究実施数</td> <td>202 件</td> <td>220 件</td> </tr> <tr> <td>競争的外部資金獲得件数</td> <td>79 件</td> <td>90 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【病床数】—（調整中のため、参考記載）【注：巻末に記載】</p>	区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値	手術件数（手術室で実施）	3,763 件	3,920 件	放射線治療件数	1,311 件	1,500 件	外来化学療法実施件数	26,046 件	27,000 件	遺伝子パネル検査数	606 件	1,000 件	重粒子線治療件数	764 件	880 件	リハビリテーション単位数	19,754 単位	30,000 単位	漢方サポートセンター外来患者数	4,866 件	4,800 件	アピアランスサポート件数	470 件	500 件	臨床研究実施数	202 件	220 件	競争的外部資金獲得件数	79 件	90 件	<p>がん専門病院、都道府県がん診療連携拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院としての役割を果たすため、次の取組を行う。</p> <p>ア 主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術、放射線及びがん薬物療法や緩和ケアによる集学的ながん医療の質の向上 より高度な医療の提供や医療技術の開発 がんゲノム医療連携病院等との連携を通じた遺伝子パネル検査と治療機会の提供 重粒子線治療の認知度向上と、これに伴う受入れ患者数の増加 他病院での対応が困難な希少がん、原発不明がん及び多重がんの治療 リハビリテーションの積極的介入や専門的な緩和ケア、東洋医学等の支持療法の提供 アピアランスケアや就労支援等の多様な相談への対応 全国がん登録、地域がん登録（神奈川県悪性新生物登録）及び院内がん登録の着実な推進 <p>イ 研究・人材育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 病理部門と臨床研究所を含めた複数の部門の協働による新たな治療方法の開発 がん領域の専門医取得をめざす人材の全国からの受入れ <p>ウ 地域連携の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県がん診療連携協議会における地域の医療機関との連携 <p>【目標値】（調整中のため、参考記載）</p> <p>手術件数（手術室で実施） 放射線治療件数 外来科学療法実施件数 遺伝子パネル検査数 重粒子線治療件数 リハビリテーション単位数 漢方サポートセンター外来患者数 （新規） 臨床研究実施数 競争的外部資金獲得件数</p> <p>【病床数】（調整中のため、参考記載）</p>
区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値																																
手術件数（手術室で実施）	3,763 件	3,920 件																																
放射線治療件数	1,311 件	1,500 件																																
外来化学療法実施件数	26,046 件	27,000 件																																
遺伝子パネル検査数	606 件	1,000 件																																
重粒子線治療件数	764 件	880 件																																
リハビリテーション単位数	19,754 単位	30,000 単位																																
漢方サポートセンター外来患者数	4,866 件	4,800 件																																
アピアランスサポート件数	470 件	500 件																																
臨床研究実施数	202 件	220 件																																
競争的外部資金獲得件数	79 件	90 件																																
<p>（5）循環器呼吸器病センター 循環器及び呼吸器領域の専門病院としての役割を果たすため、次の取組を行う。</p>	<p>（5）循環器呼吸器病センター 循環器及び呼吸器領域の専門病院としての役割を果たすため、次の取組を行う。</p>																																	

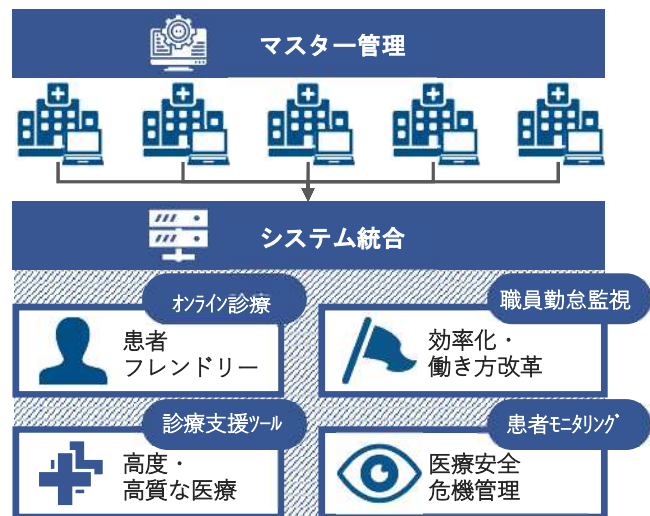
【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点																		
<p>ア 循環器における主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期医療、救急医療を中心に、併存疾患への対応等総合的な医療の提供 心臓病の急性期治療、超高齢化社会で急増する心不全への対応、アブレーション等の治療、未病の改善、QOL 向上等 <p>イ 呼吸器における主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規の検査及び治療の積極的な導入 肺がんの低侵襲手術や高精度な放射線治療 間質性肺炎等呼吸器分野の難病患者に対する多職種によるチーム医療 多剤耐性結核対策を含めた総合的な結核医療 <p>ウ 地域連携の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 中長期を見据えた循環器呼吸器病センターのあり方等の検討 <p>【目標値】 （調整中のため、参考記載）</p> <table border="1" data-bbox="178 898 1062 1129"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度実績値</th> <th>令和11年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数（手術室で実施）</td> <td>202 件</td> <td>270 件</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法実施件数</td> <td>1,434 件</td> <td>1,580 件</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>84 件</td> <td>100 件</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション件数</td> <td>15,534 件</td> <td>15,800 件</td> </tr> <tr> <td>間質性肺炎新規外来患者数</td> <td>631 人</td> <td>660 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【病床数】 （調整中のため、参考記載） 【注：巻末に記載】</p>	区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値	手術件数（手術室で実施）	202 件	270 件	外来化学療法実施件数	1,434 件	1,580 件	放射線治療件数	84 件	100 件	リハビリテーション件数	15,534 件	15,800 件	間質性肺炎新規外来患者数	631 人	660 人	<p>ア 循環器における主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期医療、救急医療を中心に、併存疾患への対応等総合的な医療の提供 心臓病の急性期治療、超高齢化社会で急増する心不全への対応、アブレーション等の治療、未病の改善、QOL 向上等 <p>イ 呼吸器における主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規の検査及び治療の積極的な導入 肺がんの低侵襲手術や高精度な放射線治療 間質性肺炎等呼吸器分野の難病患者に対する多職種によるチーム医療 多剤耐性結核対策を含めた総合的な結核医療 <p>ウ 地域連携の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 中長期を見据えた循環器呼吸器病センターのあり方等の検討 <p>【目標値】 （調整中のため、参考記載）</p> <p>手術件数（手術室で実施） 外来化学療法実施件数 放射線治療件数 リハビリテーション件数 間質性肺炎新規外来患者数</p> <p>【病床数】 （調整中のため、参考記載）</p>
区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値																	
手術件数（手術室で実施）	202 件	270 件																	
外来化学療法実施件数	1,434 件	1,580 件																	
放射線治療件数	84 件	100 件																	
リハビリテーション件数	15,534 件	15,800 件																	
間質性肺炎新規外来患者数	631 人	660 人																	
<p>5 県の施策との連携・協働</p> <p>次の取組を、神奈川県と連携して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県が推進する保健医療施策等の諸施策 （こども医療センター）県立障害者支援施設等における医師の確保 自治医科大学を卒業した初期臨床研修医をはじめとした経験年数の浅い医師へのキャリアアップの支援や、地域に根差した医師の育成 	<p>5 県の施策との連携・協働</p> <p>次の取組を、神奈川県と連携して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県が推進する保健医療施策等の諸施策 （こども医療センター）県立障害者支援施設等における医師の確保 自治医科大学を卒業した初期臨床研修医をはじめとした経験年数の浅い医師へのキャリアアップの支援や、地域に根差した医師の育成 																		
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 適正な業務の確保</p> <p>全ての職員に誠実かつ公正に職務を遂行させるため、次の取組を行う。</p> <p>（1）内部統制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 行動指針等の研修や内部監査による職員のコンプライアンス意識の向上 	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 適正な業務の確保</p> <p>全ての職員に誠実かつ公正に職務を遂行させるため、次の取組を行う。</p> <p>（1）内部統制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 行動指針等の研修や内部監査による職員のコンプライアンス意識の向上 																		

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点
<ul style="list-style-type: none"> 重大事項等に関する報告、公表、患者・家族との情報共有のあり方に係る基準整備と研修等による全職員への共有 医法連携体制の構築によるリスクマネジメント等の強化 情報管理事務、財務事務等へのリスク対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事項等に関する報告、公表、患者・家族との情報共有のあり方に係る基準整備と研修等による全職員への共有 医法連携体制の構築によるリスクマネジメント等の強化 情報管理事務、財務事務等へのリスク対策の実施
<p>(2) 重大事項等にかかる報告の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 重大事項等の発生時における、明確な報告基準に基づく各病院、本部、県及び関係機関との連携 報告フローや基準に基づく、ICT技術（チャット等）による本部事務局、病院間の情報共有 	<p>(2) 重大事項等にかかる報告の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 重大事項等の発生時における、明確な報告基準に基づく各病院、本部、県及び関係機関との連携 報告フローや基準に基づく、ICT技術（チャット等）による本部事務局、病院間の情報共有
<p>(3) 適切な情報の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護法等の関係法令に基づく個人情報の保護対策の徹底 情報セキュリティの確保等を対象とするリスク対策の実施 	<p>(3) 適切な情報の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護法等の関係法令に基づく個人情報の保護対策の徹底 情報セキュリティの確保等を対象とするリスク対策の実施
<p>2 業務運営の改善及び効率化～医療DXの推進～</p> <p>各病院で個別に管理されている電子カルテや部門システム等、医療情報システムや各種データの資産を把握するためのマスター管理及び新たな価値を生み出すためのシステム統合（機構一体でのシステム・データの活用）による医療DXを通じて、医療安全・患者サービスの向上や職員の働き方改革、病院機構全体の連携や経営改善を実現するため、次の取組を行う。</p> <p>また、並行して業務状況の見える化と業務改善のサイクルによる業務運営の効率化を目指す。</p> <p>(1) 医療DXの推進体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院への情報システム部門の設置による部門横断的な医療情報活用体制の整備 医療情報の適切な管理や効果的な活用、効率的な医療システムの調達・運用ができる人材の割当 医療情報技師等、医学・医療分野と情報技術分野に関わる資格の取得促進 <p>(2) 医療DXの具体的な取組推進内容</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォン等の情報機器による院内の情報共有やアクセスの効率化 画像診断、病理診断等の遠隔システムによる共同診療、オンライン診療体制の構築及び実施 予約や問診、診療、会計、処方等をオンライン上で処理するシステムによる患者待ち時間の短縮（再掲） 	<p>2 業務運営の改善及び効率化～医療DXの推進～</p> <p>各病院で個別に管理されている電子カルテや部門システム等、医療情報システムや各種データの資産を把握するためのマスター管理及び新たな価値を生み出すためのシステム統合（機構一体でのシステム・データの活用）による医療DXを通じて、医療安全・患者サービスの向上や職員の働き方改革、病院機構全体の連携や経営改善を実現するため、次の取組を行う。</p> <p>また、並行して業務状況の見える化と業務改善のサイクルによる業務運営の効率化を目指す。</p> <p>(1) 医療DXの推進体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院への情報システム部門の設置による部門横断的な医療情報活用体制の整備 医療情報の適切な管理や効果的な活用、効率的な医療システムの調達・運用ができる人材の割当 医療情報技師等、医学・医療分野と情報技術分野に関わる資格の取得促進 <p>(2) 医療DXの具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォン等の情報機器による院内の情報共有やアクセスの効率化 画像診断、病理診断等の遠隔システムによる共同診療、オンライン診療体制の構築及び実施 予約や問診、診療、会計、処方等をオンライン上で処理するシステムによる患者待ち時間の短縮（再掲）

コメントの追加 [A12]: 中期目標案作成の過程で、県内部から「医療DXはデジタル技術を活用して社会を変化させることであるため、医療DXを活用する、医療DXに取り組む、といった表現には違和感がある」と指摘があったため、「医療DXの具体的な推進内容」に変更

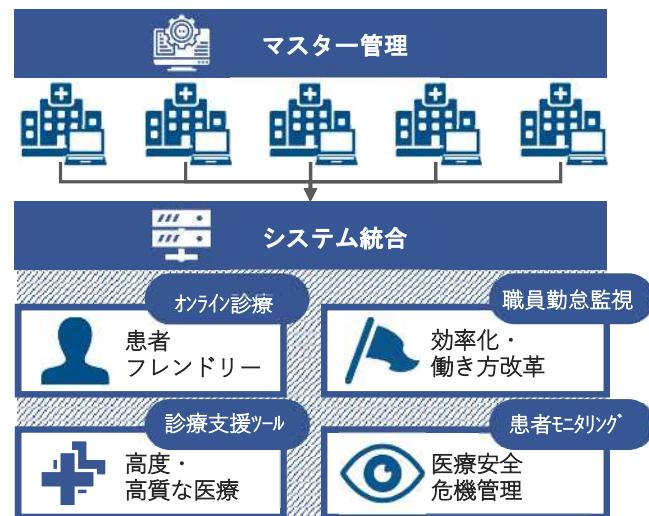
【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点

- 各病院の医療データの有機的な統合を通じた、機構病院間の連携による共同診療の実現支援



【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点

- 各病院の医療データの有機的な統合を通じた、機構病院間の連携による共同診療の実現支援

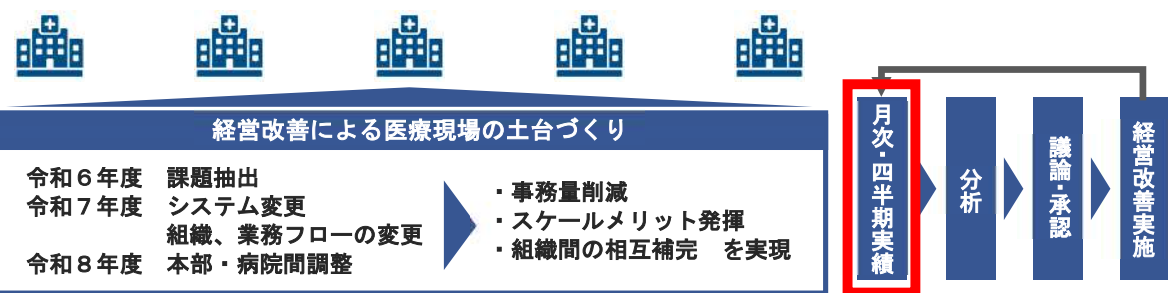


3 収益の確保及び費用の節減

医療現場を支えるため、経営基盤を安定化させ自律的な病院経営を実現すべく、次の取組を行う。

(1) 経営改善

- 四半期決算等の管理会計としての月次・四半期実績を用いた経営分析と、経営改善策の検討及び実施



【各領域の経営改善の取組】

情報システム	情報共有プラットフォーム 構築、危機管理対策（迅速な情報共有）
経営管理・企画	新たな診療報酬獲得の検討と事業の見直し
財務・経理	新たな請求処理
人事・給与	人事・給与事務の合理化、適正な人員配置に向けた各病院との調整方法のあり方の検討

(2) 収益の確保

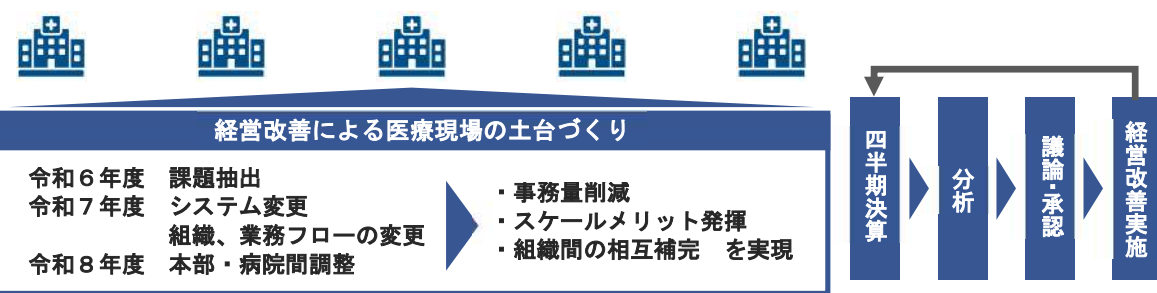
- 各病院の特性に応じた施設基準の速やかな取得

3 収益の確保及び費用の節減

医療現場を支えるため、経営基盤を安定化させ自律的な病院経営を実現すべく、次の取組を行う。

(1) 経営改善

- 四半期決算等の管理会計を用いた経営分析と、経営改善策の検討及び実施



【各領域の経営改善の取組】

情報システム	情報共有プラットフォーム 構築、危機管理対策（迅速な情報共有）
経営管理・企画	新たな診療報酬獲得の検討と事業の見直し
財務・経理	新たな請求処理
人事・給与	人事・給与事務の合理化、適正な人員配置に向けた各病院との調整方法のあり方の検討

(2) 収益の確保

- 各病院の特性に応じた施設基準の速やかな取得

コメントの追加 [A13]: 10/17 評価委員会での高橋委員からの指摘を受けた文言修正。概要版資料も同様に修正済。

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点																																												
<ul style="list-style-type: none"> 分析ツールの整備による診療報酬請求のさらなる適正化 キャッシュレス決済等の支払方法の多様化を通じた未収金の発生防止 債権回収業者の活用等を通じた未収金の更なる早期回収 原価や周辺施設との均衡等を考慮した検査料や差額ベッド代等の適時適切な改定 <p>(3) 費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> PFMや医療DX等による業務効率化を見据えた人身体制の見直しや委託料の削減 診療材料の共同購入対象品目等の一層の集約化 本部事務局での医薬品一括調達や、各病院での後発医薬品の採用の促進 <p>[目標値] 新入院患者数及び病床稼働率（調整中のため、参考記載）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">病院名</th> <th colspan="2">新入院患者数</th> <th colspan="2">病床稼働率</th> </tr> <tr> <th>令和5年度</th> <th>令和11年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和11年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,280人</td> <td>3,724人</td> <td>69.4%</td> <td>56.8%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>8,815人</td> <td>8,750人</td> <td>76.4%</td> <td>83.2%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>1,494人</td> <td>1,519人</td> <td>86.6%</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>13,196人</td> <td>14,000人</td> <td>79.0%</td> <td>86.0%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,940人</td> <td>4,150人</td> <td>58.9%</td> <td>84.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※こども医療センターの数値は福祉施設を除いたもの ※循環器呼吸器病センターの数値は結核病床を除いたもの</p> <p>[目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度実績値</th> <th>令和11年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品採用率（数量ベース）</td> <td>82.2%</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	新入院患者数		病床稼働率		令和5年度	令和11年度	令和5年度	令和11年度	実績値	目標値	実績値	目標値	足柄上病院	4,280人	3,724人	69.4%	56.8%	こども医療センター	8,815人	8,750人	76.4%	83.2%	精神医療センター	1,494人	1,519人	86.6%	85.0%	がんセンター	13,196人	14,000人	79.0%	86.0%	循環器呼吸器病センター	3,940人	4,150人	58.9%	84.2%	区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値	後発医薬品採用率（数量ベース）	82.2%	80.0%	<ul style="list-style-type: none"> 分析ツールの整備による診療報酬請求のさらなる適正化 キャッシュレス決済等の支払方法の多様化を通じた未収金の発生防止 債権回収業者の活用等を通じた未収金の更なる早期回収 原価や周辺施設との均衡等を考慮した検査料や差額ベッド代等の適時適切な改定 <p>(3) 費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> PFMや医療DX等による業務効率化を見据えた人身体制の見直しや委託料の削減 診療材料の共同購入対象品目等の一層の集約化 本部事務局での医薬品一括調達や、各病院での後発医薬品の採用の促進 <p>[目標値] 新入院患者数及び病床稼働率（調整中のため、参考記載）</p>
病院名		新入院患者数		病床稼働率																																									
		令和5年度	令和11年度	令和5年度	令和11年度																																								
	実績値	目標値	実績値	目標値																																									
足柄上病院	4,280人	3,724人	69.4%	56.8%																																									
こども医療センター	8,815人	8,750人	76.4%	83.2%																																									
精神医療センター	1,494人	1,519人	86.6%	85.0%																																									
がんセンター	13,196人	14,000人	79.0%	86.0%																																									
循環器呼吸器病センター	3,940人	4,150人	58.9%	84.2%																																									
区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値																																											
後発医薬品採用率（数量ベース）	82.2%	80.0%																																											
<p>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 経営基盤の確立について</p> <p>前項の計画を確実に実施することで、財務内容の改善を図り、安定した経営基盤を確立する。</p> <p>[目標値] 経常収支比率・修正医業収支比率（調整中のため、参考記載）</p> <p><経営目標>（調整中）</p>	<p>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 経営基盤の確立について</p> <p>前項の計画を確実に実施することで、財務内容の改善を図り、安定した経営基盤を確立する。</p> <p>[目標値] 経常収支比率・修正医業収支比率（調整中のため、参考記載）</p> <p><経営目標>（調整中）</p>																																												
<p>2 運営費負担金等について</p> <p>(1) 運営費負担金（調整中）</p>	<p>2 運営費負担金等について</p> <p>(1) 運営費負担金（調整中）</p>																																												
<p>(2) 長期借入金</p> <p>医療DXの基盤整備等長期借入を行う際は、多額の投資が見込まれることから、中長期的な投資計画を策定し、計画的な整備を行う。</p>	<p>(2) 長期借入金</p> <p>医療DXの基盤整備等長期借入を行う際は、多額の投資が見込まれることから、中長期的な投資計画を策定し、計画的な整備を行う。</p>																																												

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点
3 予算（人件費の見積りを含む。）（令和7年度～令和11年度）（調整中）	3 予算（人件費の見積りを含む。）（令和7年度～令和11年度）（調整中）
4 収支計画（令和7年度～令和11年度）（調整中）	4 収支計画（令和7年度～令和11年度）（調整中）
5 資金計画（令和7年度～令和11年度）（調整中）	5 資金計画（令和7年度～令和11年度）（調整中）
第5 短期借入金の限度額 1 限度額（調整中） 2 想定される短期借入金の発生理由（調整中）	第5 短期借入金の限度額 1 限度額（調整中） 2 想定される短期借入金の発生理由（調整中）
第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画（調整中）	第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画（調整中）
第7 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画（調整中）	第7 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画（調整中）
第8 剰余金の使途（調整中）	第8 剰余金の使途（調整中）
第9 料金に関する事項 1 診療料等（略） 2 その他の料金（略） 3 還付（略） 4 減免（略）	第9 料金に関する事項 1 診療料等（略） 2 その他の料金（略） 3 還付（略） 4 減免（略）
第10 その他業務運営に関する重要事項 1 人事に関する事項 職員同士が共に学び、成長できるような職場環境を整備するとともに、職員の能力の発揮等を通じて質の高い医療を効率的に提供するため、次の取組を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 費用対効果の観点から増員を十分に検証する等、適正な人員配置 ・ 医師確保に係る県内外の連携協力体制の構築 ・ 「医師の働き方改革」の推進による、持続可能な医療提供体制の維持 ・ ICTの活用（チャット等）による職員間でのコミュニケーションや情報共有の促進 ・ リモートワーク制度等、職員が働きやすい環境の整備 ・ タスクシェア やタスクシフト 等による長時間労働の見直しと業務の効率化 ・ 医療DXを活用した業務状況の見える化と業務改善のサイクルによる業務効率化（再掲） ・ 法人の経営状況や社会情勢を踏まえつつ、類似の法人の各種制度を参考とした、適切な人事・給 	第10 その他業務運営に関する重要事項 1 人事に関する事項 職員同士が共に学び、成長できるような職場環境を整備するとともに、職員の能力の発揮等を通じて質の高い医療を効率的に提供するため、次の取組を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 費用対効果の観点から増員を十分に検証する等、適正な人員配置 ・ 医師確保に係る県内外の連携協力体制の構築 ・ （新規） ・ ICTの活用（チャット等）による職員間でのコミュニケーションや情報共有の促進 ・ リモートワーク制度等、職員が働きやすい環境の整備 ・ タスクシェア やタスクシフト 等による長時間労働の見直しと業務の効率化 ・ 医療DXを活用した業務状況の見える化と業務改善のサイクルによる業務効率化（再掲） ・ 法人の経営状況や社会情勢を踏まえつつ、類似の法人の各種制度を参考とした、適切な人事・給

コメントの追加 [A14]: 10/17 評価委員会での鈴木委員からの指摘を受けた文言修正

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点	【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点																		
<p>与制度の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県職員の段階的な派遣引揚げに向けたプロパー職員 の計画的な育成と、外部からの登用の検討 <p>【目標値】（調整中のため、参考記載）【注：給与費比率は引き続き調整中】</p> <table border="1" data-bbox="172 520 1062 640"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度実績値</th> <th>令和11年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師の離職率</td> <td>8.8%</td> <td>8.8%</td> </tr> <tr> <td>職員1人あたりの年次休暇取得日数</td> <td>12.0日</td> <td>15.0日</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値	看護師の離職率	8.8%	8.8%	職員1人あたりの年次休暇取得日数	12.0日	15.0日	<p>与制度の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県職員の段階的な派遣引揚げに向けたプロパー職員 の計画的な育成と、外部からの登用の検討 <p>【目標値】（調整中のため、参考記載）</p> <p>給与費比率 看護師の離職率 職員1人あたりの年次休暇取得日数</p>									
区分	令和5年度実績値	令和11年度目標値																	
看護師の離職率	8.8%	8.8%																	
職員1人あたりの年次休暇取得日数	12.0日	15.0日																	
<p>2 施設管理及び施設整備・修繕に係る計画の検討</p> <p>患者・家族が安心して利用できるよう、保守点検を定期的に行うなど、設備の適切な維持管理に努める。また、第四期中期目標「I 長期ビジョン」中「3 県立病院のめざす姿」を踏まえた各病院の施設整備・修繕に関する中長期的な計画を検討し、着実に実施する。</p>	<p>2 施設管理及び施設整備・修繕に係る計画の検討</p> <p>患者・家族が安心して利用できるよう、保守点検を定期的に行うなど、設備の適切な維持管理に努める。また、第四期中期目標「I 長期ビジョン」中「3 県立病院のめざす姿」を踏まえた各病院の施設整備・修繕に関する中長期的な計画を検討し、着実に実施する。</p>																		
<p>3 情報の公表・公開について</p> <p>運営の透明性を高めて信頼性を向上させるため、県情報公開制度を踏まえながら、明確な基準に基づく積極的な情報公開を総合的に推進する。</p>	<p>3 情報の公表・公開について</p> <p>運営の透明性を高めて信頼性を向上させるため、県情報公開制度を踏まえながら、明確な基準に基づく積極的な情報公開を総合的に推進する。</p>																		
<p>4 長期借入金の限度額（調整中）</p>	<p>4 長期借入金の限度額（調整中）</p>																		
<p>5 積立金の処分に関する計画（調整中）</p>	<p>5 積立金の処分に関する計画（調整中）</p>																		
<p>第11 ロジックモデル</p> <p>達成すべき目標と取り組むべき施策の関連性を体系的に整理した「ロジックモデル」は次のとおり。</p> <p>ロジックモデル体系図（略）</p>	<p>第11 ロジックモデル</p> <p>達成すべき目標と取り組むべき施策の関連性を体系的に整理した「ロジックモデル」は次のとおり。</p> <p>ロジックモデル体系図（略）</p>																		
<p>第12 各病院の病床数</p> <p>各病院の病床数は次の通りとする。</p> <p>ただし、地域の医療状況の変化に応じて、病床を適宜見直していく。</p> <p>足柄上病院</p> <table border="1" data-bbox="172 1497 1062 1730"> <thead> <tr> <th>病床種別</th> <th>令和7年度現在</th> <th>令和11年度予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>46床</td> <td>46床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>184床</td> <td>184床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>60床</td> <td>60床</td> </tr> <tr> <td>感染症</td> <td>6床</td> <td>6床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>296床</td> <td>296床</td> </tr> </tbody> </table>	病床種別	令和7年度現在	令和11年度予定	高度急性期	46床	46床	急性期	184床	184床	回復期	60床	60床	感染症	6床	6床	合計	296床	296床	<p>（新設）</p>
病床種別	令和7年度現在	令和11年度予定																	
高度急性期	46床	46床																	
急性期	184床	184床																	
回復期	60床	60床																	
感染症	6床	6床																	
合計	296床	296床																	

【新】第四期中期計画（素案）11/20 評価委員会時点			【旧】第四期中期計画（素案）10/17 評価委員会時点		
こども医療センター					
病床種別	令和7年度現在	令和11年度予定			
高度急性期	87床	87床			
急性期	213床	213床			
回復期	50床	50床			
慢性期	40床	40床			
精神	40床	40床			
合計	430床	430床			
精神医療センター					
病床種別	令和7年度現在	令和11年度予定			
精神	323床	323床			
がんセンター					
病床種別	令和7年度現在	令和11年度予定			
高度急性期	8床	8床			
急性期	387床	387床			
慢性期	20床	20床			
合計	415床	415床			
循環器呼吸器病センター					
病床種別	令和7年度現在	令和11年度予定			
高度急性期	6床	6床			
急性期	173床	173床			
結核	60床	60床			
合計	239床	239床			